

ベンダー各社の

取組みと期待

●サン・マイクロシステムズ

NTTデータ、サン・マイクロシステムズとの パートナーリングを強化し、サーバ統合ビジネスを加速

ITシステムの効率運用を実現する VMwareによる仮想化ソリューション

企業のIT化は加速度的に進み、オフィスにはWindowsやLinuxなど様々なIAサーバの導入が進行している。ファイルサーバやWebサーバなど様々なサーバが増加し、サーバの散在が引き起こす、「TCOの増大」、「信頼性の低下」、「セキュリティレベルの低下」、「OS移行コストの発生」など、多くの課題が発生している。

このような課題の解決策として、NTTデータは、2001年より仮想化ソフトの業界標準「VMware」製品を活用したソリューションを提供、これまでにVMware製品の検証・社内での使用などによりノウハウを蓄積し、Windowsシステムの開発、構築やIAサーバの運用等に活用、既に多くの導入実績がある。また、VMware認定技術者（VCP）の拡大を図り、NTTデータ先端技術では、2007年7月よりVMware認定トレーニングセンターを開設した。

さらにNTTデータでは、2008年4月より、IAサーバを使ったインターネット構築部署をMS開発部として設置し、今後更なるサーバ統合

仮想化ビジネスの展開を加速していく。

サーバを仮想化し 統合する

VMware ESX Serverは、IAサーバ（物理サーバ）を仮想マシンに変換し、異なるOSで稼働しているアプリケーションを、ハイパフォーマンスマルチプロセッサ環境で、高いスケラビリティ能力を持つ、より少数のエンタープライズサーバに統合する。複数のOSを1台のマシンに統合・集約することで、より柔軟性の高いシステム構築が可能となる。

このようなサーバ統合ソリューションは、システム構成の標準化・集中化による管理レベルの向上により、TCOも含めたコスト削減と、稼働率向上の両立を図ることによるROIの向上が期待できる。



(前列左より) サン・マイクロシステムズ(株) パートナー営業統括本部
パートナー第二営業統括部 専任部長 遠山 尚雄氏
(株)NTTデータ 基盤システム事業本部 MS開発部 課長 齋藤 洋氏
(後列左より) サン・マイクロシステムズ(株) パートナー営業統括本部
パートナー第二営業統括部 小出 洋介氏
(株)NTTデータ 基盤システム事業本部 MS開発部 坂野 雅子氏

仮想化によるサーバ統合を、そのパフォーマンスで支援する「Sun Fire x64サーバ・ファミリー」

NTTデータでは、VMwareによるサーバ統合ソリューションにおいて、大容量・小型で、かつ省電力設計なSun Fire X4600 M2、X4150、X4450などの「Sun Fire x64サーバ・ファミリー」を推奨している。

「VMwareを導入することにより、大規模なりソースプールができ、メモリもディスクも、もちろん

CPUも、それぞれの仮想マシンが個々のリソースを占有しているかのように利用することができます。」(NTTデータ 齋藤 洋氏)

サン・マイクロシステムズが提供する「Sun Fire x64サーバ・ファミリー」は、最大16コアのプロセッサを搭載可能。高いエネルギー効率による省電力性／省スペース性と、最高レベルの性能および信頼性を備え、Solaris／Linux／WindowsなどのOSを動作させることが可能だ。

「Sun Fire x64サーバ・ファミリーのシリーズ最速のSun Fire X4600 M2サーバは、最大8ソケットまで拡張可能な、業界初のコンパクトな4Uラックマウント型筐体が特長です。また、将来のプロセッサに対しても、モジュール構造により容易にアップグレードできます。本年5月にはクワッドコアプロセッサを搭載したモデルも追加され、最大32コアまで拡張可能になります。この高速かつスケーラブルな演算パワーは、VMware を使用してのサーバ統合において、その威力を最大限に発揮できます。」(サン・マイクロシステムズ 遠山 尚雄氏)

サーバ統合構築事例

NTTデータでは、VMwareによるサーバ統合システムを提案し、多くの構築実績がある。その代表例として、全国に分散されたWindowsサーバをSun Fire X4600 M2 7台に集約し、統合した事例がある。

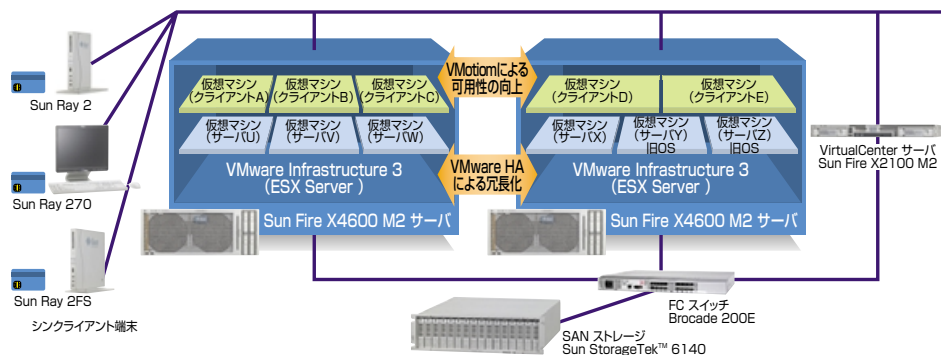


図1 VMware + Sun Rayによる仮想PC型シンクライアントシステムの構成例

「拡張性や集約率の面からサン・マイクロシステムズ社製のラックマウント型 (X4600 M2、X4150、X4450) に魅力を感じており、サーバ統合構築のご提案機会は多くなっています。私どもは、SIerとして培った実際のシステム構築経験を活かし、サーバ統合のメリット・デメリットを十分に考慮し、お客様に最適なVMwareのサイジングをご提案することができます。」(NTTデータ 坂野 雅子氏)

VMware + Sun Rayによるシンクライアントソリューション構築例

企業や自治体のセキュリティ対策やPCの運用コストを抑えたいというニーズが高まっている。このようなニーズに対して、NTTデータでは、OSや記憶装置を一切持たない専用端末「Sun Ray」を活用したVMware + Sun Rayによるシンクライアントソリューションを提案、構築している (図1 参照)。

NTTデータが提供する仮想化ソリューションの特長は、分散されたWindowsサーバを統合するほか、

Sun Ray Serverも含めて、VMwareによる仮想マシンにすべて1つに集約できることだ。VMwareがサポートしているゲストOSであればすべて集約・統合し、OSやアプリケーション資産を活かすことができる。

仮想化環境を体験できる Try & Buy プログラムを提供

サン・マイクロシステムズでは、仮想化ソリューションを60日間無償で体験できる「Try & Buyプログラム」を用意している。

「今後もNTTデータ様とサン・マイクロシステムズは、豊富な構築ノウハウと革新的な技術を駆使し、お客様に最適な仮想化環境を提供していきます。」(サン・マイクロシステムズ 小出 洋介氏)

お問い合わせ先

サン・マイクロシステムズ株式会社
 パートナー営業統括本部
 パートナー第二営業統括部
 TEL : 03-5156-9470
 株式会社NTTデータ
 基盤システム事業本部 MS開発部
 TEL : 050-5546-8703